

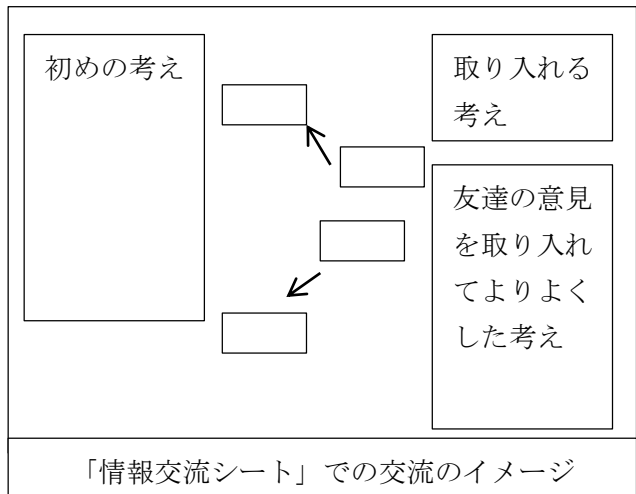
実践記録（小5・国語）

1 ねらい

意見交流を通して、友達のことを取り入れて自分の考えをよりよくすることができる。

2 手立て

「情報交流シート」を使って交流を行う。初めに自分の考えをまとめ、その考えについてグループの友達から付箋紙で意見や質問を貼ってもらい、意見交流をする。付箋紙の色は、賛成なら青、反対なら赤、質問なら黄色、質問への回答なら緑というように色分けする。交流が終わったら、貼られた付箋紙の中から自分が取り入れたい考えを選び、その考えを取り入れて自分の考えをよりよくしていく。



3 実践の様子

最初に、小グループで付箋紙を使った意見交流を行い、その後、それぞれのグループで出た意見を全体でも交流する流れで行った。

小グループでの交流では、付箋紙を使った交流に新鮮さを感じ、意欲的に取り組んだ。中には、資料から得た情報だけではなく、実際に見た経験を通して得た知識や、自主的に調べてきた内容を、意見交流の際に活用している児童もいた。しかし、初めの考えとして書かれている内容に賛成する意見のみで意見交流が終わってしまったグループや、話の筋がそれてしまうグループもあった。

全体での交流は、どの児童も積極的に挙手をして、考えの根拠をはっきりさせて発言することができた。また、グループ交流で友達から十分な意見を得られなかった児童も、全体での交流からいろいろな意見を得ることができた。

交流を終えた後で、グループ交流や全体での交流で得た意見から、自分の考えに取り入れたいものを選び、「情報交流シート」に記録させた。そして、それらを取り入れて、自分の考えをよりよくするようにした。すると、交流を通して得た考えを自分の考えに取り入れることができた。しかし、初めにもった考えから変化や深まりがなかった児童もいた。



グループ交流の様子

ぼくは、最初、「名古屋東部の人たちだけの事しか、考えていながらたけれど、友達の「地下鉄の駅が近い」という意見を聞いて、自分の考えは、「南部や西部の人も行きやすい」という考えにかわりました。

考えの変容が見られた児童の感想

4 成果と課題

- 「情報交流シート」で意見交流の様子が可視化されたことで、自分の考えに対する友達の考えがとらえやすくなり、友達の考えを取り入れて自分の考えをよりよくすることができた。
- 自分の考えを広げたり深めたりすることができなかつた児童が見られた。はっきり意見が分かれるテーマでなかつたために、反対意見が出にくく、初めの自分の考えのままでよいと結論付けた児童がいた。はっきりと賛成・反対と意見が二極化するテーマを選択する必要がある。